

2014年も 山梨県甲府市上帯那地域にて 耕作放棄地活性化活動を開始！

山梨県甲府市「帯那地域活性化推進協議会」との
「企業の農園づくり推進事業に関する包括協定」に基づく取り組み

2014年度 第1回活動リポート
2014年5月31日（土）



耕作放棄地の面積率が全国2位の山梨県。山間地域にある甲府市上帯那（かみおびな）地域にて、ファミリーマートは、2011年度より社員有志一同が、菜の花や青大豆、お米をつくることで、田畑の再生をお手伝いする活動に取り組んでいます。帯那地域活性化推進協議会とファミリーマートは2011年5月「企業の農園づくり推進事業に関する包括協定」を締結し、農作業に取り組みながら地域の皆さんとの交流を深めています。この地域社会貢献活動も本年度で4年目を迎えます。2014年第1回目の活動は、こしひかりの苗を田んぼに植える作業です。水入れ、肥料散布もすんで、田んぼの準備は万端に整っています。さあ、田植えが始まります。

Report

地元の小学生とともに開会セレモニーに参加

山梨企業の農園づくり

山梨県・甲府市・帯那地区が行う
耕作放棄地再生活動に協力しています

あなたと、コンビニに、
FamilyMart

毎年この活動と一緒に取り組んでくれる甲府市立千代田小学校の児童の皆さんが今年も一緒に活動してくださいませ。田植えの前に早速「いきもの教室」、水田に生息するカエルやイモリ、昆虫などを捕まえます。地域環境資源センターの職員の方々から捕まえた生き物の生態について教えてもらいながら、田んぼについての生息環境を学び理解を深めます。田植えの前から手足を泥んこにして生き物を捕まえる児童たち。自然と共存する生き物に触れ、環境について学ぶ良いきっかけとなったことでしょう。

児童たちが存分に生き物を捕まえた後に、いよいよ田植えの開会セレモニー。帯那地域活性化推進協議会副会長の早川さんの司会のもと、会長の末木さん、そして千代田小学校校長先生のご挨拶と続きます。

都市農村交流事業の一つとして、ファミリーマートの活動に毎回、指導参加くださる帯那地域活性化推進協議会の皆さまのおかげで、田植えの準備、整いました。



田んぼのいきもの調査に励む千代田小学校の皆さん



田植えを待つ青々とした苗

いよいよ田植え開始！

～子どもも大人も泥んこになりながら気持ちのよい汗を流しました～

さあ、強い日差しの照りつけるなか、いよいよ田植えの開始です。帯那地域活性化推進協議会の皆さまのいつもの手厚いご指導のもと、一列になって苗を植えていきます。

田植え初参加者は、苗の持ち方すらわからず「先生」方からの厳しい指摘の応酬に右往左往！

田んぼにロープを張り、それを目印にまっすぐ苗を植えていきます。ロープがあるのにもかかわらずなかなかまっすぐに等間隔に植えることができません。

そのうちに、生き物観察を終えた児童たちも続々と田植えに参加。はじめは泥の中に入るのをためらっていましたが、さすがは元気いっぱい。あっという間に一面に苗を植えてくれました。

みんなで一所懸命働いた後は、地域の奥様が腕によりをかけて作ってくださったおいしいカレーライスやお惣菜の数々に舌鼓を打ちました。力を合わせて作業をすることの気持ちよさ、そしてチームワークの大切さを改めて学ぶ一日となりました。



水田ではオタマジャクシも観察できる



カレーライスと手作りのお惣菜の数々

Voice



末木会長（右）と粥川（左）

甲府市帯那地域活性化推進協議会 会長 末木 英明様

今年もファミリーマート様には大勢のボランティアの方々にご協力をいただきまして大変感謝しております。

2014年2月に山梨は豪雪によりライフラインが止まってしまうという災害に見舞われました。ここ帯那も麓に行く道路が雪により寸断され、孤立状態となりましたが、幸いにして事なきを得ました。ファミリーマート様と今年も収穫まで楽しく活動をしていただけたらよいなと思っております。今年も頑張ってお返し活動していきましょう。

株式会社ファミリーマート CSR部マネジャー 粥川 昭浩

4年目の活動となりますが、今日もありがたく、晴天に恵まれ、絶好の田植え日和となりました。ファミリーマート社員も子どもたちも泥んこになりながら田植え作業に気持ちのよい汗を流すことができました。次回のじゃがいもの収穫で来る時には、この田んぼは青々と変わってるんでしょうね。収穫が楽しみです！

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。